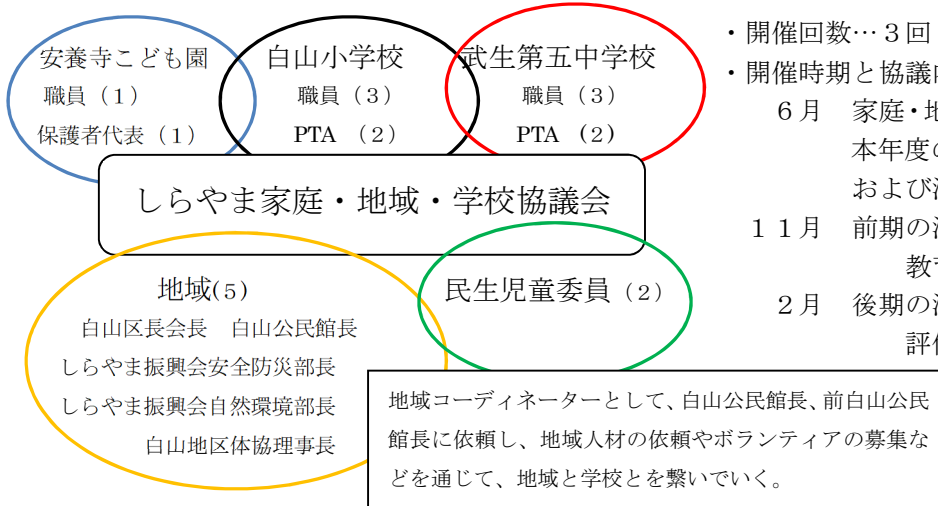


## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



### (2) 協議会の内容

- ・開催回数…3回
- ・開催時期と協議内容の予定
 

|     |   |
|-----|---|
| 6月  | 家庭・地域・学校協議会の趣旨説明<br>本年度の具体的な活動方針<br>および活動計画 |
| 11月 | 前期の活動報告<br>教育活動評価                           |
| 2月  | 後期の活動報告<br>評価の分析と次年度への課題                    |

### (3) 協議会における成果と課題

子どもたちの安全に関して情報交換を行い、危険箇所や危険な場面について共有し対応することができた。また、これからの地域と学校のかかわり方についても、前向きな話し合いを持つことができた。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

- ・豊かな自然と地域の人材を生かし、地域と学校の共通理解のもと、ふるさと「しらやま」を意識した活動を展開する。
- ・コウノトリが住みやすい環境づくりに児童自らが参加できる活動を展開する。

### (2) 活動の実際

#### ①大豆栽培と味噌づくり (3・4年生)

購入した大豆の苗を学校の近くでの借りた畑に植え、大豆を栽培した。畑での畝づくりや水やりも、地域の方が協力してくださり、たくさん大豆を収穫することができた。一部は、家庭に持ち帰って枝豆として味わったが、残りは、国語の教材「すがたをかえる大豆」の発展学習として味噌づくりをするために、天日で乾燥させ一粒一粒ていねいに大豆を取り出した。地域コーディネーターの支援により、公民館や地域の味噌づくりグループの方々の協力を得て味噌づくりを行った。

#### ②コウノトリが住みやすい環境づくり (5・6年生)

地域の方とともに越前市役所農林整備課の協力をいただき、田植え前の学校田や用水路、退避溝などでの生き物調査と外来種の観察・駆除などの活動を行った。それとともに、地域の農家の協力を得ながら、無農薬栽培による米づくりも実施した。さらに、県安全環境部自然環境課のご協力により、コウノトリの飼育方法や雛の成長について講演していただき、地域で育ったコウノトリについて理解を深めた。

### (3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・外来種駆除活動にあたり、関係する地域人材や他のボランティアの方々との連絡調整などをおこなった。
- ・コウノトリが住みやすい環境をつくり守るために、無農薬栽培での米づくりや、栽培した大豆を使った味噌づくりに関係する人材やボランティアの募集、連絡・調整をおこなった。

### (4) 特に工夫した事項

- ・大豆栽培や味噌づくりなどに関して、できる限り教科の学習と関連させるよう配慮した。またマイクロバスを使って市内の味噌蔵に出向き、実際に味噌づくりを見学することで、味噌づくりへの理解を深められるようにした。
- ・外来種に関しては、校区内の調査だけでなく、マイクロバスで吉野瀬川や日野川周辺など他地域にも出かけ、外来種の現状について調査を行った。
- ・無農薬栽培による米づくりでは、オーガニック肥料や米糠を使用したり、乾燥も天日干しで行ったりと、できる限り環境に配慮した。
- ・新たに購入したデジタルカメラも活用し、児童自身が学習活動を記録したり、それを利用して学習のまとめをしたりできるよう工夫した。

### (5) 成果と課題

時には校庭で頭上飛ぶコウノトリを見ることができる、そんなすばらしい環境の中で、日々子ども達は学習している。しかし、この環境は自然とできたものではなく、地域の人々の願いと努力によりつくられ維持されている。

今回のコウノトリが住みやすい環境づくりや大豆栽培と味噌づくりの学習で、子ども達は地域の方々と触れ、ともに活動する中で、地域の方々の「ふるさとしらやまへの思い」を感じることができたのではないかと思います。また、味噌づくりや無農薬栽培による米づくりを通して、伝統文化を子ども達に伝えることもできた。

なにより、地域コーディネーターの働きかけにより、地域の方々が学校へたくさん協力してくださったこと、地域と共に学習を進めることができたことが大きな成果である。

今後も、地域コーディネーターの支援を受けながら、地域と共に教育活動を進めていきたい。

